

1 調査名称：海老名市道路交通マスタープラン見直し業務

2 調査主体：海老名市

3 調査圏域：海老名市内

4 調査期間：平成29年度

5 調査概要：

海老名市道路交通マスタープランは、平成元年12月に策定し、その後、数次にわたる見直しを行ってきました。

これに基づき道路整備の推進を図ってきましたが、平成19年度の見直し（以下、「既往計画」という。）以降、圏央道海老名ICの開通や海老名駅周辺における開発、自転車通行の新たな基準の発出等、市内外の道路整備を取り巻く状況が当時とは大きく異なっています。

そこで、駅周辺におけるまちづくりや社会情勢等、都市計画道路の見直しの結果等を考慮した将来の幹線道路網計画を策定しました。

## I 調査概要

- 1 調査名称：海老名市道路交通マスタープラン見直し業務委託
  
- 2 報告書目次
  1. 業務概要
    - 1-1. 概要
    - 1-2. 業務内容
  2. 道路整備をとりまく状況等の整理
    - 2-1. 社会的条件の整理
    - 2-2. 交通条件
    - 2-3. 海老名市の道路交通体系をとりまく現況特性のまとめ
  3. 上位計画の位置づけの整理
  4. 住民アンケート調査の実施・分析
    - 4-1. 調査の実施
  5. 既往計画の検証・課題の整理
    - 5-1. 既往計画における道路整備計画の課題整理
    - 5-2. 既往計画における課題
    - 5-3. 道路を取り巻く状況からの課題
    - 5-4. 事例等の整理
  6. 幹線道路網の見直し方針の検討
    - 6-1. 「見直しの検討が必要な路線」の抽出の考え方
    - 6-2. 見直しの検討が必要な路線の抽出
    - 6-3. 見直しの基本方針の検討
  7. 見直し対象路線の抽出
    - 7-1. 見直し対象路線の抽出
  8. 将来交通需要推計の検証
    - 8-1. 交通量推計にあたっての条件整理
    - 8-2. 現況再現性の検証
    - 8-3. 開発交通量の算出
    - 8-4. 見直し道路ネットワーク推計
    - 8-5. 推計結果の評価
  9. 将来幹線道路網計画
    - 9-1. 幹線道路ネットワーク
  10. 自転車ネットワークの検討
    - 10-1. 本市の自転車をとりまく状況
    - 10-2. 基本方針・計画目標の設定

10-3. 自転車ネットワーク路線の選定

10-4. 整備形態の選定

11. 現地調査

11-1. 調査の実施

11-2. 調査結果のとりまとめ

### 3 調査体制

海老名市道路交通マスタープラン見直し検討会

事務局

海老名市都市計画課

検討会

道路整備課、市街地整備課、駅周辺対策課、地域づくり課、企画財政課

### 4 委員会名簿等：

なし

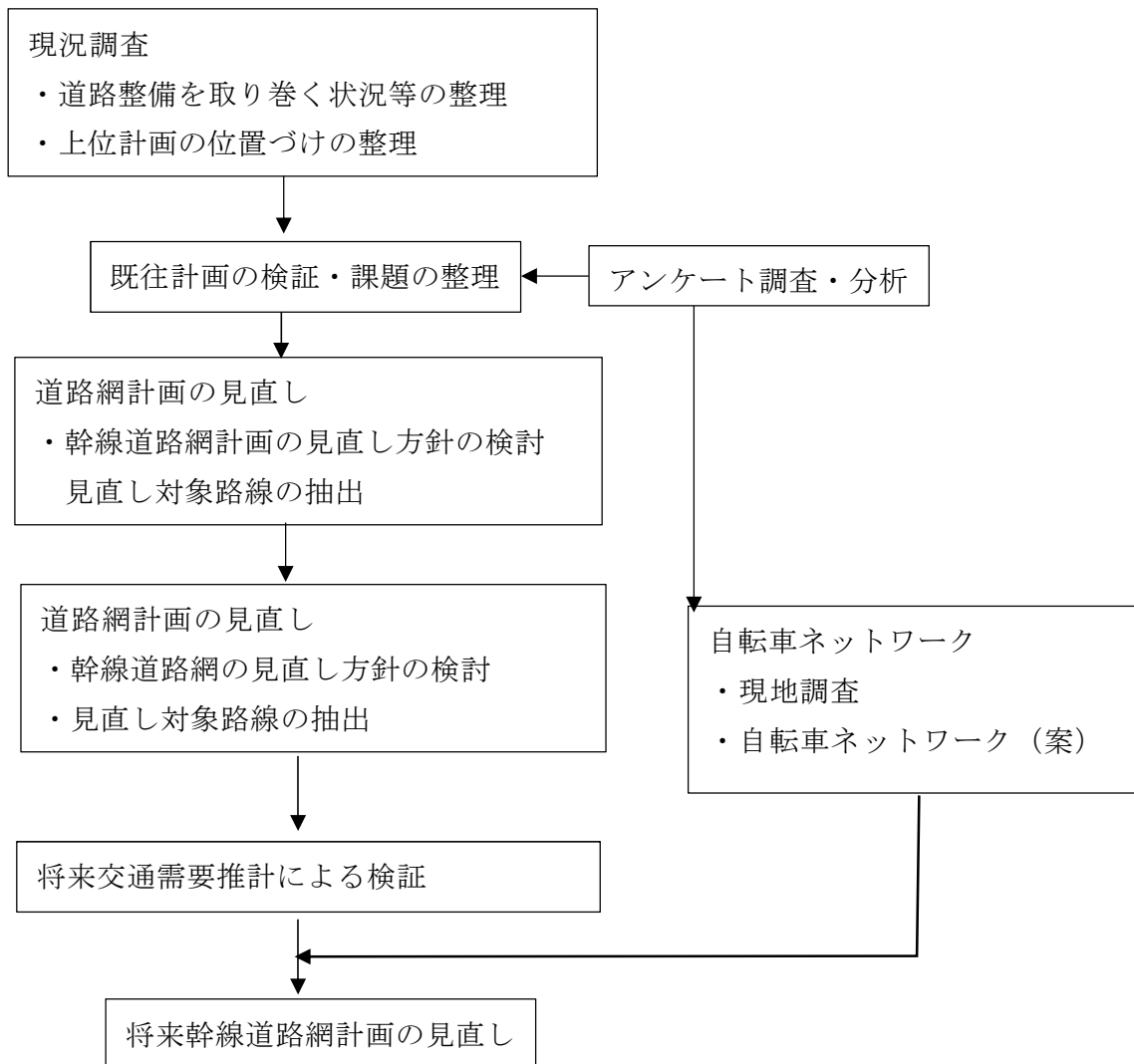
## II 調査成果

### 1 調査目的

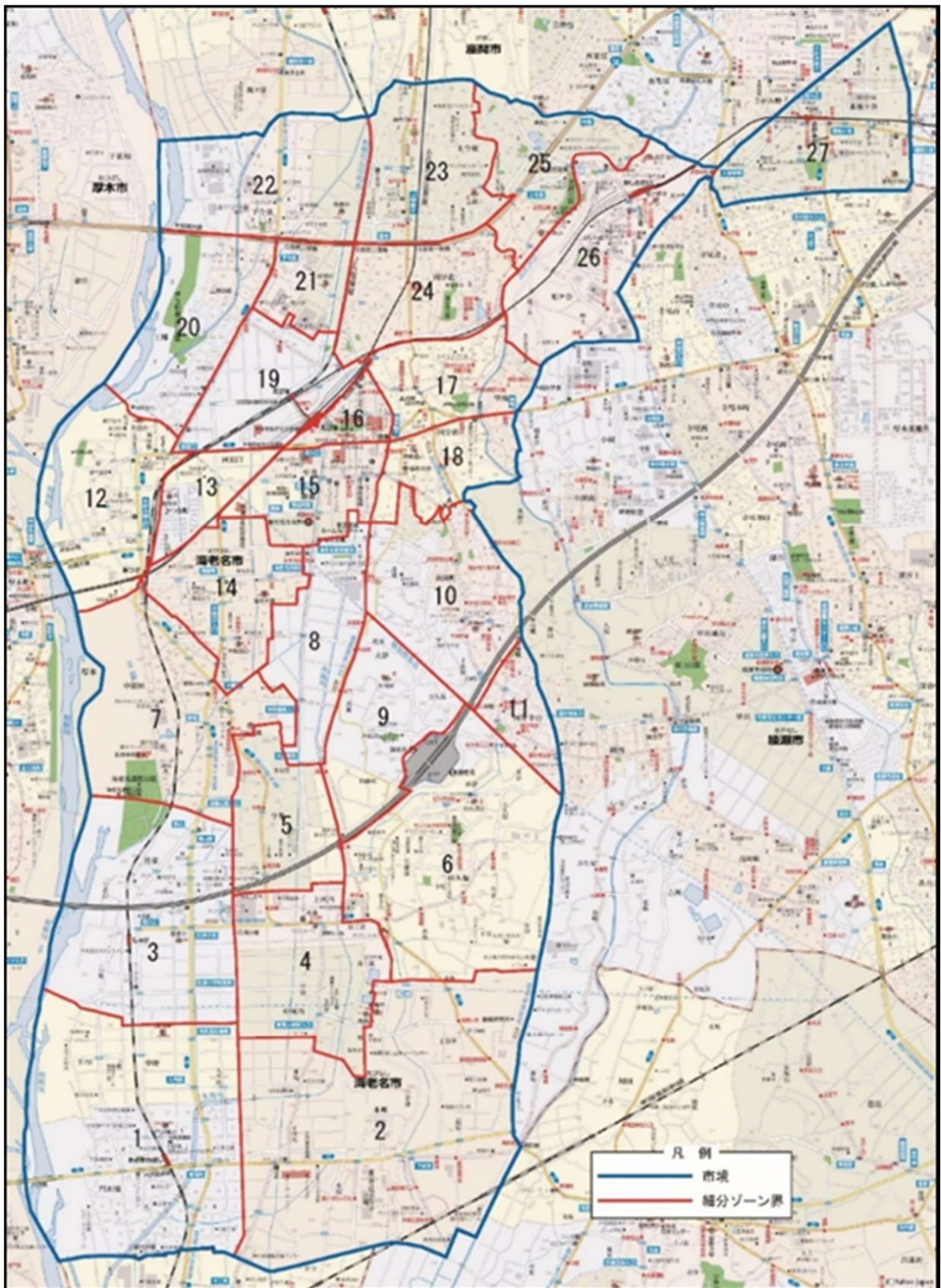
海老名市道路交通マスタープランは、平成元年12月に策定し、その後、数次にわたる見直しを行ってきました。これに基づき道路整備の推進を図ってきましたが、平成19年度の見直し（以下、「既往計画」という。）以降、圏央道海老名ICの開通や海老名駅周辺における開発、自転車通行の新たな基準の発出等、市内外の道路整備を取り巻く状況が当時とは大きく異なっています。

本業務では、これらの社会情勢の変化を踏まえた上で既往計画の見直しを行い、将来の幹線道路網計画を策定することを目的とします。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



## 4 調査成果

## 5 将来幹線道路ネットワーク

## 5-1 幹線道路ネットワーク

将来幹線道路網（検討案）より、定量的検証を行った上で、本市の将来幹線道路ネットワークは以下で構築します。

## ■ 広域幹線道路

	該 当 路 線
高速自動車国道	東名高速道路 第二東名自動車道 一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
一般国道	一般国道246号

## ■ 幹線道路

	該 当 路 線
県道 (主要地方道含)	県道22号横浜伊勢原 県道40号横浜厚木 県道43号藤沢厚木 県道406号吉岡海老名 県道408号社家停車場 県道407号杉久保座間
都市計画道路	(都)河原口勝瀬線 (都)下今泉門沢橋線 (都)東京沼津線 (都)海老名駅大谷線 (都)大谷峰線 (都)中新田鍛冶返線 (都)河原口中新田線
海老名市道	幹線市道（1級、2級市道）の一部

## ■ 自転車・歩行者道路

	該 当 路 線
県道等	さがみグリーンライン 横須賀水道路

5-2 将来幹線道路網計画

